

# 医療分野の財源論

医療財源において、公的負担（保険料、税金）へ依存し過ぎるのでは、日本の財政問題の面から厳しい情勢である。



公的負担の増大を極力回避するのであれば、自己負担の増大を講じなければならない。



- ・ 保険診療と自由診療の併用を拡大し、**自由診療部分に民間保険を拡充する**という選択肢がある。
- ・ 保険外診療部分に民間保険の財源が加わることで、医療崩壊につながった医療費抑制を軽減することができる。
- ・ スイスでは「基本健康保険」という強制保険と、基本健康保険でカバーされない部分に対しては「追加保険」と呼ばれる任意加入の保険で医療のオプションサービスが受けられるようになっている。

血液疾患「発作性夜間ヘモグロビン尿症 (PNH)」に対するソリリスという薬剤の費用は**年間約4,000万円**かかる。

高額療養費返還制度の対象となるため、4,000万円のほとんどが健康保険の保険者から支払われる。



しかし、症状は抑制されるが、生存期間が延長されるかは不明である。

副作用を考慮すれば、投与することが本人にとって良いかどうかわからないものがある。このような薬に4,000万円を使うというのは本当に良いのだろうか。もっと有効な使い途があるのではないだろうか。

なお、ソリリス治療開始前に髄膜炎菌ワクチンの接種が必要だが、日本では販売されていないため、PNH患者はワクチンを個人輸入するクリニックで接種を受ける。

保険で承認されたソリリスによる治療に先立って、未承認のワクチンを自費で接種しなければならないのだから、実質的に混合診療になってしまう。

# da Vinci 導入施設数

施設分類	施設数
国公立大学附属病院	36
私立大学附属病院	17
国公立病院	37
私立病院	32
合計	122

※2013年7月23日現在

(参考) 日本ロボット外科学会ホームページを参考に作成  
<http://j-robo.or.jp/da-vinci/nounyu.html>

## ②医療産業育成の観点から

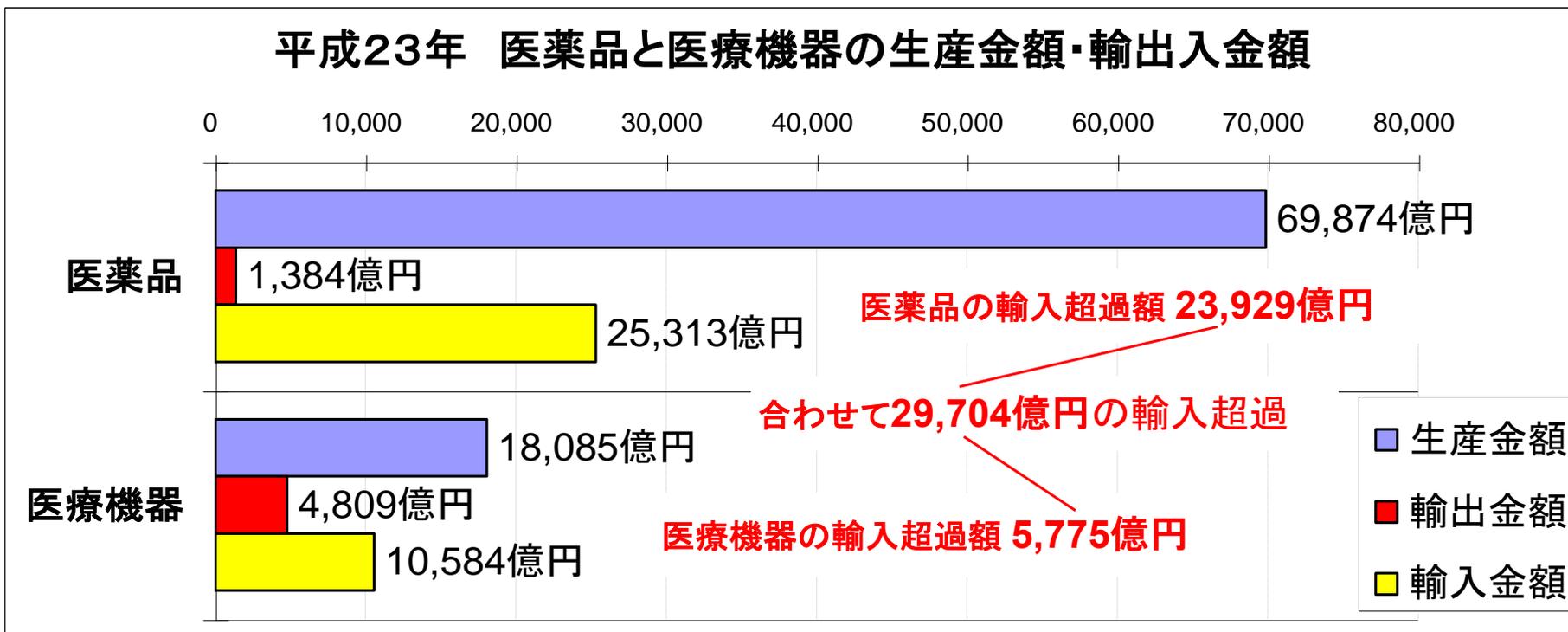
### コストからバリューへ

- ・ 従前存在しなかった高齢者層の急速な増加
- ・ 高齢者層の価値観のシフト  
自動車・電気機器 → 健康・医療
- ・ 富裕高齢層の資産 → 健康・医療へ

保険診療と保険外診療の併用の自由度を拡大すれば、患者の選択肢が増えるだけでなく、輸入超過が続く医療産業の育成にもつながる。

# 医薬品・医療機器産業を輸出産業として育成する必要がある

## 平成23年 医薬品と医療機器の生産金額・輸出入金額

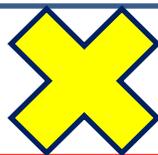


厚生労働省：平成23年薬事工業生産動態統計年報を参考にして作成

### ③医療安全の観点から

厚生労働省の見解：

混合診療を導入すると、安全性、有効性等が確認されていない医療が保険診療と併せ実施されてしまう。科学的根拠のない特殊な医療の実施を助長するおそれがある。



医療安全上問題がある医療について、規制をかけるべきではないのか。

情報の非対称性があるのであれば、保険外診療であっても、規制がかけられるように対応すべきである。

そもそも、医療安全について「混合診療の禁止」というルールで対応するには無理がある。

# 医療行為の規制について

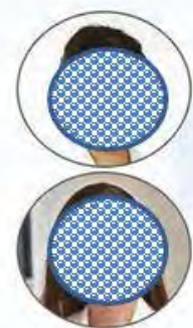
にんにく注射や自己多血小板血漿注入療法、いわゆる怪しい民間療法など、効果のエビデンスが乏しく、非常識に高額なものについては、規制を強化すべきである。

保険診療でないことからほとんど野放し状態となっている場合が目につく。

# アンチエイジングクリニック 最先端のアンチエイジング治療

酸化ストレスや糖化度、遅延型食物アレルギー検査、有害重金属検査など、従来の検査ではわからなかった分子・細胞レベルの異常を把握し、血液クレンジング®やキレーション点滴、オリジナルカクテル点滴、高濃度ビタミンC点滴、検査結果に基づいたドクターズサプリメントなどを中心に、さまざまな角度から治療を行う。

※各種専門クリニックは、曜日によって実施できない場合がございますので、お電話にてお問い合わせ下さい。



担当医師：

担当医師：

## 自由診療の特長

- 十分な時間をかけて診療ができる
- 保険で認められない治療を自由にできる
- お客様の利便性が高まる など

自由診療ならではの満足いただけるサービス  
をご提供いたします。

※原寸の約4~5倍  
に拡大



### 一人ひとりに処方される ドクターズサプリメントをご提供

医師の管理のもとで処方してくれるドクターズサプリメントは、ぜひ注目したい。より機能的に、より長時間働きかけるように設計されているので、毎日の健康管理の大きな武器となりそうだ。

### 健幸華齢を目指す スマートなメディカルフィットネス

館内にフィットネススタジオを設け、幸福で華やかに齢を重ねる健康華齢を目指し、お一人おひとりのライフスタイルに合わせたスマートで効果的な運動メニューを提供。



# 予防医療健診ドック

未病や予防を目的に、各個人の疫病リスクや  
ライフスタイルに応じた健診プログラム。

## ▶ 基本ドック <検査料金>371,000円

生活習慣や加齢にともなう種々の疾患について、早期発見はもちろん症状が出現する以前の「予備軍」の発見を目指す。

## ▶ 脳ドック <検査料金>321,000円

MRI・MRAなど、さまざまな角度から脳を検査。喫煙者や飲酒量の多い方は、一度は受けておきたい。

## ▶ 心臓ドック <検査料金>401,000円

動脈硬化などの血管の異常に加え、突然死の恐れもある心筋梗塞や狭心症などの虚血性心疾患のリスクをチェック。

## ▶ 消化器ドック <検査料金>271,000円

胃や大腸など、各種消化器に特化したドック。  
負担を軽減することが検査法を採用。

## ▶ 抗加齢ドック <検査料金>251,000円

疾病の有無のチェックだけでなく、老化度を総合的に判定。より健康な毎日を送るための生活改善に主眼が置かれている。

※各種ドックは、曜日によって実施できない場合がございますので、お電話にてお問い合わせ下さい。



MRI室



マンモグラフィ室



CT室

世界に名だたる長寿国、日本。  
しかし、押し寄せる高齢化の波で、  
国民医療費は毎年1兆円も増えるという試算もあり、  
対策が迫られている。  
個人の幸福を考える上でも重要な「健康」の維持には、  
何が必要なのだろうか。

《自由診療・完全予約制》 予約・見学申込受付中



0120-



診療内容および各メニューの詳細、  
最新情報などは、WEBサイトにてご確認ください。

